



London Paralympic Games

ロンドンパラリンピックを終えて...

オットーボックヘルスケア社は、1988年に開催されたソウル大会以降、長きにわたりパラリンピック競技大会の全ての競技参加者に対し、修理サービスを提供し、サポートを続けてまいりました。

2012年のロンドンパラリンピック競技大会においても、公式修理サービスプロバイダーとして、今大会では125カ国、1,983名の競技者に対し修理サービスを提供し、トータルの修理サービス件数は2,740件になりました。

パラリンピックでのオットーボック社の活動の詳細はウェブサイトまでアクセスください。(www.paralympics.ottobock.jp)

Quality for life

ロンドンパラリンピックを終えて...

オットーボック・ジャパン パラリンピック専用ウェブサイト：www.paralympics.ottobock.jp

修理の結果

開会式1週間前の8/22から閉会式が開催された9/9まで、18カ国から参加した80名の義肢装具士、車いす技術者、溶接の専門家が修理サービスの任にあたりました。パラリンピック村、その他9ヶ所の競技会場内に設営された修理サービスワークショップにて、今大会に参加した4,200名の競技者の使用する、義肢、装具、車いすをメーカーを問わず修理サービスいたしました。

ロンドンパラリンピック修理結果

参加技術者数	18カ国から80名(日本から3名)
修理施設の規模	約600㎡のメインワークショップ
サテライト施設数	9ヶ所の競技会場の修理ブース
修理件数	2,740件
修理件数内訳	車いす2,165件、義肢396件、装具179件

リオ大会へ向けて国際パラリンピック委員会 (IPC) とのオフィシャルパートナー協定を更新

オットーボックヘルスケア社は、2005年に、パラリンピックにおける修理サービスの長年の実績により、国際パラリンピック協会 (IPC) との協定を締結し、オフィシャルパートナーとなりました。この協定は、今回のロンドン大会の期間中に、2016年リオ大会、さらにその先へと延長されました。



パラリンピック オフィシャルパートナー延長契約の締結式

主なトピックス

下記以外にも、ロンドンパラリンピック ホームページの「スタッフの日記」から興味深いトピックスを数多くご覧いただけます。



開会式、閉会式で旗手の使用する車いすに国旗を掲げる為のポールを取付けるのも修理サービスの仕事の1つ、開会式当日には60カ国以上の旗手の車いすにポールを取付ける作業に追われました。



オリンピックパーク内ではIPCとの共催の展示イベントを開催。来場者はハンドサイクルや競争用の板バネ義足を体験しました。



バスケットアリーナ内に設営された修理ブースにて、試合開始前に破損した車いすのフレームを溶接する救急修理が行なわれました。



オットーボック アンバサダーの1人、ハインリッヒ・ポポフ選手が男子100m走(大腿切断クラス)で金メダルを獲得



オットーボックヘルスケア社のCEO、ネーダー教授が最終区間の聖火ランナーに



祝杯をあげるハインリッヒ・ポポフ選手と彼を担当した義肢装具士、ティノ・ハートマン(中央)と開発チームの義肢装具士、ジェンズ・ノーマン(左)